

朝あれい

朝あれい (一)

小学こ校う 一い年ねん生せい 氏うぢ

二に階かいの講こう堂どうの朝あれい 大お終しゆうるら

現げん止し客きやく之の 9こ七しちアアととにに 寄よせせて

教きやう堂どうへへかかままささ

音おん聲せい符ふかかかかるるここてて 残ざん念ねん

今いまももかかすすままこととかかああるる、、大お口くちアア止し

朝あれい (二)

松しょう政せいアアの 美み蓉じゆう室しつへへつつととりりた

白はく衣いをを着きて 一いっ朝ちやうにに並ならぶ

そそのの家かをを 先せん生せいかかととるる

朝あれい 氏うぢ

音おん聲せい張ちやうししののりり。 私わたくしもも手てををががいいととしし

立たてていいののつつめめかか見みええ氏うぢのの音おんののアアととしし

かかけけれれててししるる

美み蓉じゆう室しつのの大お 一いっ日にちにに色いろををアアととりり

氏うぢのの氏うぢ

時とき句くととああるる 桐きり尾びににああるるとと

受う付けかかるる アアととりりととスス、、大お原はらにに

君はのイワナアさん

万巻さすりす

順着はよあわさ 新タリク、バトベは

最後の今うていな

朝市い(三)

高売してい。おじの朝市い

みん子 そろっていの木

見つかう学い人い いあのお

人も そわでは けいあさ

皆いのせいには 走り出す

先、巨先は 台所 孫の用は 茶台 三ノ

かまんでい

そこへ さべりこむ

こつが 大きき 十べを それくの

茶ふ台へ あく っアアと とうん

コウ ちホウ 巨斜路を てくる

社員会員 台所です

稼がろスレ を 市ハ軍に のせ、ハイタウレ

行、てい。おまうてくると 台所を

おし付子ニケレて ハイ、高名ア

と
に
来
た

よ
し
く
朝
丸
い
け

あ
た
り
り
り

2024
12/
13